

選挙運動費用収支報告書

記載例

1 平成30年9月30日執行 柳川市議会議員一般選挙

2 公職の候補者

住所 福岡県柳川市本町87番地1

※候補者届出書記載の住所と一致すること。

氏名 柳川 太郎

※立候補準備のための収入・支出があるので、
報告の始期は告示日前の日付でもいい。

3 平成 30 年 ○ 月 ○ 日から

(第 1 回分)

平成 30 年 ○ 月 ○ 日まで

※第1回分は、「収入の部」「支出の部」に記載された支払い月日の最初と最後の日付を記入します。

第2回分の報告の始期は、第1回分の報告の際の帳簿仕切日の翌日の日付とします。

例。10月12日までと第1回分で報告の場合、
第2回分の報告の始期は、10月13日

4 収入の部 (No. 1)

月 日	金額又は積額	種 別	寄 附 を し た 者			金銭以外の寄附及びその他の収入の見積の根拠	備 考
			住所又は主たる事務所の所在地	氏名又は団体名	職 業		
○ 月 ○ 日	円 600,000	その他の収入					自己資金
○ 月 ○ 日	200,000	その他の収入					借入金
○ 月 ○ 日	30,000	寄 附	〇〇市〇〇 〇〇番地〇	柳川 花子	無職	米60kg	
○ 月 ○ 日	50,000	寄 附	〇〇市〇〇 △△番地	大和 農	会社員		
○ 月 ○ 日	30,000	寄 附	柳川市〇〇 〇〇番地	三橋 教子 外5件			
○ 月 ○ 日	20,000	寄 附	柳川市〇〇 〇〇番地	柳川 二郎	無職	無償労務従事 2日間×10,000円	

「寄附」「その他の収入」の区別を明記すること。

1件1万円以下の収入については、「寄附」及び「その他の収入」の別により各収入日における合計額を1つの欄に記載すること。
「寄附」については、1件1万円以下のものについても各件ごとに記載して差し支えない。

無償労務提供の場合は、時価に見積もった額を収入（寄附）及び支出に計上しなければならない。

4 収入の部 (No. 2)

月 日	金額又は積額	種 別	寄 附 を し た 者			金銭以外の寄附及びその他の収入の見積の根拠	備 考
			住所又は主たる事務所の所在地	氏名又は団体名	職 業		
	円						
計	寄 附	130,000					
	その他の収入	800,000					
	計	930,000					
前回計	寄 附						
	その他の収入						
	計						
総額	寄 附	130,000					
	その他の収入	800,000					
	計	930,000					

参 考	公費負担相当額 324,000 円 (ポスター作成費)
-----	-----------------------------

5 支出の部 (No. 1)

月 日	金額又は積額は額見積	区分	支出の目的	支出を受けた者			金銭以外の支出の見積の根拠	備考
				住所又は主たる事務所の所在地	氏名又は団体名	職業		
	円							
○ 月 ○ 日	75,000	選挙運動	車上運動員報酬	〇〇市〇〇1-1-1	海山 遙香	自営業	15,000円×5日	
○ 月 ○ 日	20,000	選挙運動	労務者報酬	柳川市□□ 〇〇番地	柳川 二郎	農業	無償労務従事 2日間×10,000円	
○ 月 ○ 日	70,000	選挙運動	事務員報酬	柳川市〇〇 △△番地□	柳川 一郎	無職	◆無償労務提供の場合は、時価に見積もった額を収入(寄附)及び支出に計上しなければならない。	
人件費 計	165,000							
○ 月 ○ 日	100,000	立候補準備	事務所借上料	柳川市△町 〇〇番地	柳川 三郎	漁業		
家屋費 計	100,000						◆「事務員」、「車上運動員(いわゆるウグイス嬢)」及び「手話通訳者」をあわせて1日に、市議選挙は9人を超えて報酬を支払ってはならない。また、当委員会に届け出た者以外の者に報酬を支払ってはならない。 「労務者」には人数制限がなく、当委員会に届け出る必要はない。また、選挙運動に限らず、立候補準備のためにも雇用することができる。	

「立候補準備」又は「選挙運動」の別を明記。
告示日前日(9/22)以前は「立候補準備」、告示日以降は「選挙運動」

5 支出の部 (No. Δ)

月 日	金額又は見積額	区分	支出の目的	支出を受けた者			金銭以外の支出の見積の根拠	備考
				住所又は主たる事務所の所在地	氏名又は団体名	職業		
○ 月 ○ 日	円 20,000	選挙運動	電話料	福岡市博多区○○△番△号	NTT		選挙運動用自動車(1台のみ)に要する借上料、ガソリン代等は選挙運動費用には含まれないので支出には計上しないこと。	
通信費 計	20,000							
○ 月 ○ 日	8,000	選挙運動	ガソリン代	柳川市○○ △△番地□	(株) □□石油		候補者自身が乗車する場合の車賃は、選挙運動には含まれないので、支出には計上しないこと。	
○ 月 ○ 日	3,000	選挙運動	タクシー代	柳川市○○ △△番地□	株) ○○タクシー			
○ 月 ○ 日	1,000	選挙運動	バス代	柳川市○○ △△番地□	柳川 一郎	無職		
交通費 計	12,000						選挙運動に従事する者(事務員、車上運動員等を含む。)及び労務者に対する交通費の実費弁償などを記載すること。	
○ 月 ○ 日	324,000	立候補準備	ポスター作成費	柳川市○○ △△番地□	(株) □□印刷			選挙公営
○ 月 ○ 日	46,000	立候補準備	同上	同上	同上			選挙公営超過分
契約締結月日を記載すること。							公営により市から作成費が支払われた場合も支出を計上すること。しかし、収入には計上しなくてよい。その結果、支出総額が収入総額を上回っても差し支えない。	
印刷費 計	370,000							

5 支出の部 (No. Δ)

月 日	金額又は 見積額	区 分	支出の目的	支 出 を 受 け た 者			金銭以外の支出の 見積の根拠	備 考
				住所又は主たる事務所の所在地	氏名又は団体名	職 業		
・ ・	円							
○ 月 ○ 日	40,000	立候補準備	選挙事務所 看板代	柳川市○○ ΔΔ番地□	(株)○○社			
○ 月 ○ 日	60,000	立候補準備	自動車看板 作成	柳川市○○ ΔΔ番地□	ΔΔ店			
○ 月 ○ 日	10,000	立候補準備	たすき	柳川市○○ ΔΔ番地□	○○商店			
広告費 計	110,000							
○ 月 ○ 日	5,000	立候補準備	ノート10 冊、ボールペ ン50本	柳川市○○ ΔΔ番地□	○○文具店			
⋮								
⋮								
⋮								
⋮								
文具費 計	7,000							

5 支出の部 (No. △)

年 月 日	金額又は見積額	区分	支出の目的	支出を受けた者			金銭以外の支出の見積の根拠	備考
				住所又は主たる事務所の所在地	氏名又は団体名	職業		
	円							
計	立候補準備のための支出	587,000	(科目別小計)					
	選挙運動のための支出	245,000	1 人件費	165,000円	6 広告費	110,000円		
	計	832,000	2 家屋費	100,000円	7 文具費	7,000円		
前回計	立候補準備のための支出		(1) 選挙事務所費	100,000円	8 食糧費	20,000円		
	選挙運動のための支出		(2) 集合会場費	0円	9 休泊費	0円		
	計		3 通信費	20,000円	10 雑費	28,000円		
総額	立候補準備のための支出	587,000	4 交通費	12,000円				
	選挙運動のための支出	245,000	5 印刷費	370,000円	合計	832,000円		
	計	832,000						
支出のうち 公費負担相当額	項目		単価 (A)		枚数 (B)		金額 (A) × (B) = (C)	
	ポスターの作成		2,000円		162枚		324,000円	
	計						324,000円	

この報告書は、公職選挙法の規定に従って作製したものであって、真実に相違ありません。

平成 30 年 10 月 00 日

出納責任者

※出納責任者選任届記載の住所と一致すること。

住所 福岡県柳川市本町 87 番地 1

氏名 柳川 月子

※平成30年10月15日(月)までに提出しなければならない。



領収書等を徴し難い事情があった支出の明細書

(No. 1)

支出の年月日	支出の金額	区分	支出の目的	領収書その他の支出を証すべき書面を徴し難かった事情
○年○月○日	円 20,000	選挙運動	労務者報酬	無償労務提供のため
○年○月○日	1,000	選挙運動	バス代	領収書の発行をしないため
○年○月○日	324,000	立候補準備	ポスター作成費	公費負担のため

1 平成30年9月30日執行 柳川市議会議員一般選挙

2 公職の候補者 氏名 柳川 太郎

3 出納責任者 氏名 柳川 月子

備考

- 「区分」の欄には、立候補準備のために要した費用及び選挙運動のために支出した費用の区別を明記するものとする。
- 「支出の目的」の欄は、公職選挙法施行規則別記第30号様式支出簿の備考中6の例により記載するものとする。